

平成22年度 山形県立鶴岡工業高等学校 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

達成度・自己評価	
A	達成
B	概ね達成
C	やや不十分
D	不十分

重点目標	1 ものづくりを通して感動を味わうことのできる工業教育の推進	2 高い進路目標を実現できる教育の推進
	3 工業技術の進展に対応できる教育の推進	4 全国レベルの研究活動や全国制覇のできる部活動の推進

重点項目	評価項目	自己評価	数値目標 : 達成度	次年度の課題と改善策	学校関係者評価
1 学習指導の充実	学力の向上	B	生徒の授業満足度80%以上をめざす:A	今年度3学期から試行した朝学習について評価し、次年度の朝学習の年間計画の作成と実施につなげたい。家庭学習時間を増やす対策について検討していく。	・学習の取り組み、改善策については概ね評価できる。出席率については99.5%に到達しなかったとはいえ概ね満足できる結果といえる。 ・生徒指導については、数値目標の達成度でCの評価となっているものがあるが全体的に満足できる成果を上げているのではないかと。 ・企業では、5S(整理、整頓、清掃、しつけ、清潔)運動を展開しているところが多い、問題行動の未然防止対策として清掃活動の取り組みを徹底してはどうか。 ・進路100%は高く評価できる。今後も継続して欲しい。
	学習習慣の定着	C	毎日の家庭学習1時間以上:C		
	教育課程の適切な運用と検討	B	学期の出席率99.5%以上をめざす:C		
	読書指導の充実	B	3年間での皆出席者20%以上をめざす:B 図書貸し出し冊数年間4冊以上:B 中学生体験入学・相談会の中学生満足度:A		
2 生徒指導の充実	規範意識の向上と問題の未然防止	B	問題行動を未然に防止させる:C	①問題行動が昨年度より多かった。特に二学期以降は集団によるものだけであった。個々への呼びかけや指導はもちろんだが、1人一人が他者を思いやり、また自分を伸ばせる集団づくりが必要である。 ②研究クラブ・部活動で高い目標を持って取り組ませるとともに、学業との両立を果たせるように、環境整備が必要である。	・就職については、地元就職を勧めて欲しい。地元に残り地域を元気にする人材の育成に今後も努めて欲しい。 ・ものづくりの指導については、高く評価できる。建築システム科の茶室の取り組みは新しい視点を盛り込んだ取り組みとして良かった。今後も福祉など新しいアイデアや視点を考えたものづくりを進めて欲しい。 ・ものづくり展示会など地域イベントは、地域貢献度が大きい。今後も積極的に進めて欲しい。
	生徒会活動・部活動の活性化	B	登下校時の安全徹底を図らせる:B 交通事故を未然に防止させる:B 部活動・研究クラブ加入率95%をめざす:C 県大会・全国大会において上位入賞:B		
3 進路指導の充実	職業観・勤労観の育成	C	就職希望者早期の100%内定をめざす:B	あまりにも準備不足のまま受験した生徒が見受けられた。あいさつ、期限厳守以外にも、準備の徹底など、社会人としての常識を、全職員でさまざまな機会をとらえ強く指導したい。 国立大希望者には、入学直後から面談で意思確認し、教科指導も手厚くするなど特別に支援しないと合格は難しい。	
	適切な情報提供と進路意識の高揚	B	国公立大学進学希望者の100%の合格をめざす:C		
	進路目標の達成と指導体制の充実	B	三者面談を年1回以上実施する:B 適切に進路情報を提供する:B		
4 工業教育の充実	「技術力」「発想力・創造力」「勤労意欲」を持った生徒の育成	B	各種コンテストで県優勝をめざす:A 地域に開かれた公開講座の開催とPR活動:A	本校の学科に関係する「ものづくりコンテスト」の全部門出場も含め、積極的な大会への取り組みに努める。 検定・資格に対する生徒の意識を向上させ、取得者数の増加を図る。	
	地域と連携した工業教育の推進	A	資格取得を積極的に推進:B ものづくり技術を生かしたボランティアを実践する:A		

生徒アンケート	回収率 98.20%	「学校生活が充実している」「校則を守り挨拶のできる人間になろうと努めている」「遅刻・欠席をなくすよう努めている」等生活面では80%以上の生徒が肯定的な評価をしている。「授業時間の確保」については、21%の生徒が否定的な回答をしている。
保護者アンケート	回収率 91.50%	「たくましい生徒の育成」「工業教育の充実」「進路指導の充実」「部活動、研究活動の充実」には、いずれも85%以上の高い評価をえている。一方「基礎学力の向上、わかる授業の実施」「きめの細い生徒指導」「家庭への連絡や意志疎通」の面では、25%以上の保護者が不十分であると回答等している。
地域関係者アンケート	回収率 50%	「全体的に地域の期待に応えた教育活動が行われている」「社会規範やマナーを見につけた生徒を育てようとしている」等について90%以上の高い評価を得ている。一方、あいさつが悪くなっているといった声も聞かれる。
教職員アンケート	回収率 78.80%	進路指導が充実し、進路希望が達成されている。部活動・研究クラブ活動が充実していると評価されている。一方、基礎学力の向上・わかる授業の実践、高い進路目標を実現できる教育について学校全体で取り組む必要があると指摘している。